

平成 30 年度東京の観光公式サイト「GO TOKYO」の新規構築（英語版は移管）及び
運営管理業務委託事業者選定（プロポーザル方式）実施要領

1 目的

公益財団法人東京観光財団（以下、「財団」という。）が運営している東京の観光公式サイト「GO TOKYO」（以下「サイト」という。）では、外国人旅行者に対してニーズの高い情報を発信し、訪都意欲向上と利便促進を図るため、平成 29 年度に英語版サイトの新規構築を行った。

本事業では、より広い対象に対し有効な情報を発信するため、英語以外の 8 言語・9 種類版（以下「他言語版」という。）について、英語版を元にした構築・公開を実施する。公開後の 9 言語・10 種類版（以下「全言語版」という。）の新たなサイトにおいては、データ分析及びターゲット層のニーズにもとづく、ユーザビリティ向上のための施策と改善を継続的に実施し、さらに効果的な観光情報発信の実現を図る。これにより、訪都意欲のより一層の向上を図るとともに、ターゲットユーザーの利便性を高めるために、外国人の視点に立ったコンテンツの企画・制作、サイト構築・運営管理等に最も優れた事業者を募集し、プロポーザル方式により選定する。

2 委託内容

別添「仕様書」のとおり

3 事業提案上限額

金 290,000,000 円（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

4 履行期間

契約締結日の翌日から平成 31 年 3 月 31 日まで

5 選考の流れ

平成 30 年 5 月 18 日（金）	公募開始／希望申出受付 ※希望申出方法については財団 HP「契約情報」を参照
平成 30 年 5 月 24 日（木）	正午 公募締切
平成 30 年 5 月 25 日（金）	企画審査会の指名通知／参考資料の希望・質問の受付開始
平成 30 年 5 月 29 日（火）	正午 質問の受付締切
平成 30 年 5 月 31 日（木）	質問の一斉回答
平成 30 年 6 月 8 日（金）	正午 英語審査原稿及び各国語翻訳審査原稿の提出期限
平成 30 年 6 月 13 日（水）	正午 企画提案書の提出期限
平成 30 年 6 月 19 日（火）・20 日（水）・21 日（木）	企画審査会の実施（予定）
平成 30 年 6 月 22 日（金）	審査結果の通知

6 企画提案に必要な提出物と提出方法

(1) 提出物

I. 英語原稿及び翻訳原稿

① 英語原稿【様式1】：「New&Trending」の原稿を1案

仕様書「7（3）① i）New&Trending」のコンテンツとしての掲載を想定し、1案分の英語原稿を作成すること。

- ・平成30年7月に掲載されると仮定した企画を提案すること。
- ・原稿量は英語 200～300 ワード(単語)程度とすること。
- ・英語のネイティブライターが作成すること。また、日本語の対訳（対訳は審査対象外とする。）をつけること。

② 翻訳原稿【様式2】：観光スポット情報

様式2の英語の課題文を、8言語9種類（中国語（〈1〉簡体字・〈2〉繁体字）、〈3〉韓国語、〈4〉フランス語、〈5〉ドイツ語、〈6〉スペイン語、〈7〉イタリア語、〈8〉タイ語、〈9〉日本語）に翻訳すること。

※①②における注意事項は以下のとおり。

- ・英語はアメリカ、フランス語はフランス、ドイツ語はドイツ、スペイン語はスペイン、イタリア語はイタリアで使用されるものとする。
- ・アジア圏の言語は特性上の理由から、英語の元原稿を日本語に翻訳したものをもとに作成することも可とする。
- ・英文作成、編集、校閲・校正、翻訳のそれぞれについて、本件に主として携わる者が実施した上で提出すること。
- ・関連する施設に対して直接、取材や許諾申請、問合せ等は一切行わないこと。

II. 企画提案書

以下、①から⑩の項目に従い作成すること。書式は、A4版、文字サイズ10.5ポイント以上、言語は日本語とする。Webサイトの専門知識がなくてもわかりやすい内容にし、専門的な用語にはできるだけ注釈をつけること。

① 全体のスケジュール

仕様書「4 事業実施スケジュール」までに、安定的な構築及び公開を実施し、正確な情報が掲載された適正な運営を実現できるスケジュールを提案すること。

提案ではiからiiiの区分を明確にして、システム開発/導入・コンテンツの企画/掲載許可/取材/撮影/制作など、各区分で想定される作業工程を具体的に記載すること。また、iiiは仕様書「7（4）戦略的なサイト運用・改善業務」の実施計画も盛り込むこと。

- 英語版 移管・公開業務
- 他言語版 新規構築・公開業務
- 公開後の管理・更新業務（言語毎の進行の別を考慮すること）

② 実施体制

前述の①「全体の制作スケジュール」の i から iii の区分別に、実施体制を提案すること。提案には以下の内容を含めること。

- ・指揮命令系統、役割分担、各分担の人数
- ・取材、ライティング、校閲・校正、編集、翻訳、掲載許可及び確認、レイアウトチェック等の体制・作業フロー

③ 過去3年以内の類似業務実績

以下の内容を含めること。

- ・過去3年以内の類似業務実績（英語・日本語を含む4言語以上の観光関連Webサイト構築・運営管理業務に限る）について：制作年、制作物の名称、内容、制作言語（全て）、制作言語ごとのサイトページ数、発注元
- ・協力会社、専門スタッフ（ライター、編集スタッフ、カメラマン、翻訳スタッフ等）の実績
 - ※英語のネイティブライターは経歴・実績（可能な範囲で媒体名含む）、執筆例等。
 - ※翻訳者及び翻訳校閲者または、翻訳会社の実績。
 - ※外部委託する場合は、委託先会社名を明記すること。
 - ※カメラマンが撮影した観光スポットの撮影写真3点以上を事例として挙げる。体制に複数名のカメラマンを配置する場合は、全員の撮影写真を提案内容に含めること。

④ 本事業に関わるコンテンツ自由提案

仕様書「7（3）① iii）自由提案コンテンツ」の具体案を企画し、提案すること。

- ・全言語版共通で1案以上とすること。言語ごとに一部内容等が異なる提案の場合、その別を明確にすること。
- ・企画意図・想定ユーザー層（具体的に限定される場合）・コンテンツ内容等を明確にすること。

⑤ 言語版ごとの表示コンテンツ案

仕様書「7（2）⑤ 言語版ごとの表示コンテンツの出し分け」の具体案を提案すること。

- ・仕様書に基づいた上で、企画意図等を明確にすること。
- ・提案は各言語につき、1案とすること。

⑥ 中国語簡体字版における対策について

仕様書「7（2）⑥ 中国語簡体字版における対策」の具体案を提案すること。

⑦ 機能の導入方法について

- a) 以下 i～iii の仕様書【別紙 1】「新サイト機能要件一覧」に記載のある機能について、導入する機能の詳細、その機能の具体的な活用方法等を提案すること。
- i. サイト内検索②（音声による）
 - ii. 読み上げ機能
 - iii. プッシュ通知
- b) 仕様書【別紙 1】「新サイト機能要件一覧」で導入する機能について、技術面における実現性も考慮した上で、機能要件の改善等の提案、新規機能の提案について併せて行うこと。

⑧ システムについて

i. サーバについて

セキュリティレベルが高く安定した運用のできるサーバの導入・整備、稼働環境、運用・保守管理について、具体的に提案すること。

ii. CMS について

セキュリティレベルが高く、9 言語・10 種類の運用に対応可能で、別途財団の指定する関連事業者の使用にも適した CMS の導入について、具体的に提案すること。

iii. サイト運用管理全体に係るセキュリティ対策について

サーバ、CMS を含むサイト全体に係るセキュリティ対策について、障害発生時の対応方法も含めて、具体的に提案すること。

iv. その他（自由提案）

テキストの作成（英語・日本語）～確認～修正のフローをスムーズに行うためのシステム導入等の提案があれば行うこと。

⑨ 英語原稿及び翻訳原稿

- 6 (1) I 「英語原稿及び翻訳原稿」と同一の原稿を添付すること。

⑩ 見積書（様式自由） ※1 部のみ要押印

前述の①「全体のスケジュール」の i から iii の各区分別に作成すること。見積総額は消費税等の諸税を含んだ金額とすること。

仕様書の項目を以下の表にある No. 1～5 の各項目に振り分けた上で、項目毎の内訳及び見積総額を明示すること。表の「仕様書の項目（参考）」を振り分けの参考とすること。これ以外に本委託業務の履行にかかる費用があれば、適切な項目に記載すること。

No.	項目名	仕様書の項目（参考）
1	コンテンツ制作更新費	7(3) サイトコンテンツの管理・更新業務のうち翻訳費以外、8 システム開発・導入要件のうち(2)
2	翻訳費	7(2)②、7(3)のうち翻訳費
3	サーバ使用及び保守費	7(5)、8のうち(2)以外、9 システム運用保守要件
4	その他事務費（管理費等）	7(3)⑥、7(4)②、10 納入物件

(2) 参考資料の提供について

提案に際して以下の参考資料の提供を希望する場合は、指名通知事業者に対してのみ、財団が指定した項目に限って提供する。指名通知とあわせて財団が送付する「参考資料の提供希望及び誓約書」を財団に提出すること。財団で受け付け後、速やかに希望のあった資料の提供を行う。

- ①「平成 29 年度東京の観光公式サイト「GO TOKYO」に関する外国人旅行者のニーズ調査・分析等業務委託」による結果
- ②Google Analytics によるサイトのアクセス集計結果

(3) 提出方法と提出部数

以下のとおり、それぞれ提出すること。提出物により提出方法と期限が異なるため、注意すること。

なお、提出期限までに提出がない場合、企画審査会の参加を辞退したものとみなす。必ず辞退届を速やかに提出すること。

■提出物 I 「英語原稿及び翻訳原稿」 :

各様式を PDF ファイルに変換の上、以下宛先にメール添付にて提出すること。

提出先	: 公益財団法人東京観光財団 総務部観光情報課 北澤、篠原宛 kitazawa@tevb.or.jp shinohara@tevb.or.jp
メール件名	: 平成 30 年度「GO TOKYO」業務委託 審査原稿_自社名
ファイル名	: 各ファイル名の後ろに _自社名 を付けること ※原稿には自社名及びロゴマーク等の記載は一切しないこと
提出期限	: 平成 30 年 6 月 8 日 (金) 正午 (必着) 【時間厳守】

■提出物 II 「企画提案書」 :

以下に記載のとおり、1 部を除いて、自社名及びロゴマーク等は一切記入しないこと。企画提案書の最後に見積書を添付し、あわせて一冊の形状で、それぞれ指定のある部数を提出すること。

提出物	自社名及びロゴ	会社印	提出部数
企画提案書	なし	なし	13 部
	あり	※見積書のみ押印	1 部

宛先は、以下に郵送または持参にて提出すること。

提出先 :
公益財団法人東京観光財団 総務部観光情報課 北澤、篠原 宛
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 346 番地 6 日新ビル 2 階
※封筒に「平成 30 年度東京の観光公式サイト「GO TOKYO」の新規構築（英語版は移管）及び運営管理業務委託事業者選定審査会用資料」と明記すること。
提出期限：平成 30 年 6 月 13 日（水）正午（必着）【時間厳守】

7 企画審査会

実施日 : 平成 30 年 6 月 19 日（火）・20 日（水）・21 日（木）のうちいずれか

※日程は財団が指定する。

実施方法 : 応募者（1 社 4 名以内）による企画提案説明のプレゼンテーション

実施時間 : 1 社あたりのプレゼンテーション 25 分、質疑応答 10 分程度、計 35 分程度（予定）

※プロジェクターを使用する場合、準備時間はプレゼンテーション時間に含まれない。

会場 : 東京都内で財団が指定した会場 ※企画審査会参加社に別途通知

その他 : 各社の実施日時については、別途通知する。

プロジェクターの利用を希望する場合は、企画提案書提出期限までに連絡すること。

8 選考方法

企画審査会においては、財団が別途定める「平成 30 年度東京の観光公式サイト「GO TOKYO」の新規構築（英語版は移管）及び運営管理業務委託企画審査会審査要領」に基づいて選考を行う。評価基準については、以下のとおりとする。

①スケジュール

・仕様書に基づいて、サイトを構築・運営できる現実的なスケジュールになっているか。

②実施体制

・精度が高く円滑な進行が期待できる適正な制作及び管理運営体制であるか。
・魅力的で正確な情報を発信するために、掲載許可申請及びそれに係る調整を含む業務を適正に履行することのできる作業フローになっているか。

③類似実績

・本事業を遂行するのに十分な業務実績を有しているか。
・協力会社、専門スタッフ等に十分な実績があるか。英語ライター及び翻訳者、編集スタッフの実績は、仕様書「7（3）②」に記載のあるスキルを有しているか。

④英文原稿の作成

・内容 : 外国人旅行者の視点に立ち、「行って何ができるか、楽しめるか、見ることができるか」が伝わる内容になっているか。
・表現 : 自然で読みやすく、魅力的な文章になっているか。また、諸外国との関係に

配慮し、特定の国や文化、宗教等を連想させない表現であるか。ノンネイティブにも分かりやすい表現になっているか。

- ・ 文法：文法は正しいか。内容が正確に英語で書かれているか。
- ・ 単語：日本文化独特の単語を含む場合、わかりやすく適切な単語で表現しているか。固有名詞の正式名称を正しく表記しているか。

⑤ 翻訳原稿の作成

- ・ 表現：自然で読みやすく、魅力的な文章になっているか。また、諸外国との関係に配慮し、特定の国や文化、宗教等を連想させない表現であるか。
- ・ 文法：文法は正しいか。内容が正確に書かれているか。
- ・ 単語：固有名詞の正式名称を正しく表記しているか。日本文化独特の単語を含む場合、わかりやすく適切な単語で表現しているか。日本語の場合は、翻訳の後に日本語ユーザー向けに不要な内容を削るなど、適切な調整を行っているか。

⑥ 本事業に関わるコンテンツ自由提案

- ・ 外国人旅行者に対する東京観光の魅力発信と、訪都意欲の向上を効果的に図るために適した内容か。
- ・ 外国人旅行者の視点に立つことを前提としつつ、同時に、多言語・多ページのウェブサイトを効率的に運営するにあたっての必要な視点が備わっているか。
- ・ 公式サイトとして妥当な提案か。

⑦ 各言語・文化圏の特性の考慮

- ・ 提案する「言語版ごとの表示コンテンツの出し分け」は、妥当性が高く、かつ実現性に優れた内容か。
- ・ 中国語簡体字版における対策は、実現性が高く説得力のある内容か。

⑧ 機能の導入

- ・ 具体的、かつ、適切に、実現可能な導入方法が提案されているか。
- ・ 機能要件の改善、新たな機能の提案について、明確な根拠に基づく妥当な提案がされているか。

⑨ システム

- ・ サーバ、CMS、システム全般において、セキュリティレベルが高く、安定した運用のできる提案になっているか。
- ・ サイト全体に係るセキュリティ対策は、将来的にも安定した運用が見込める提案か。障害発生時の対応方法は、適正か。
- ・ CMSは9言語・10種類の運用に対応可能か、また財団担当者や関連事業者の使用に適しているか。
- ・ 原稿の作成をスムーズに行うことが期待できる等、サイト構築までの作業フローや公開後の運用管理を効率よく実施するために有効なシステム導入等の提案があるか。

⑩ 提案価格

- ・ 見積の提案価格は妥当か。また、経費内訳それぞれに事業実施の妥当性はあるか。

9 選考結果の通知

全ての応募者に対し、選定結果を文書で通知する。

なお、審査結果に関わる質問については、一切受け付けない。

10 質問等

本件に係る質問は、財団指定の様式による「質問票」の提出により、「5選考の流れ」に記載している期間内に受け付けた後、同項記載の回答日までに、応募者全てに一斉回答する。なお、質問受付期間終了後の質問については、一切受け付けない。

11 その他

- (1) 企画提案応募に係る費用は、全て応募者の負担とする。
- (2) 応募書類等は一切返却しない。
- (3) 企画審査会の当日、開始時間に遅れた場合は失格とする。
- (4) 応募を辞退する場合は、企画提案書の提出期限までに、辞退届を提出すること。
- (5) 契約締結に当たっては、受託者との協議のうえ、仕様書又は契約提案額を変更する場合がある。

12 本件の問合せ先

公益財団法人 東京観光財団 総務部観光情報課（担当：北澤、篠原）
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 346 番地 6 日新ビル 2 階
TEL：03-5579-2681（月～金 午前9時～午後5時（祝日を除く。））
FAX：03-5579-8785